

三条商工会議所景況調査概況

【令和4年1月～3月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和4年3月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 331 商工会議所が 2,599 企業にヒアリング。回答数 1,995 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 243 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

3月の全産業合計の業況DIは、▲32.7（前月比+1.2ポイント）

新型コロナ感染拡大の影響に伴う巣ごもり需要による日用品などの売上が増加した小売業や、飲食料品関連の卸売業の業況感が改善した。一方、18都道府県におけるまん延防止等重点措置が延長され、営業制限やイベントの中止が続く中、観光関連や対面サービス業を中心に売上が低迷するほか、製造業では、慢性化する部品供給制約に伴う生産調整の影響を受けた自動車関連の動きが押し下げ要因となっている。業種を問わず、原油価格を含む資源・資材価格、原材料費の高騰などのコスト増加が収益回復の足かせとなっており、中小企業の景況感は、持ち直しの動きがみられるものの、力強さを欠く。

先行き見通しDIは、▲28.8（今月比+3.9ポイント）

まん延防止等重点措置の全面解除に伴う客足や消費の回復、国・自治体による需要喚起策への期待感が伺える。一方、部品の供給制約、資源価格の高騰が継続し、コスト増加分の価格転嫁が遅れる中、ウクライナ情勢悪化に伴い、円安やコスト増がさらに加速するとの懸念から警戒感が強まり、中小企業の先行きは慎重な見方が続く。

全国の3月産業別業況

【建設業】

「店舗の工事受注により売上は改善したものの、部材の納期遅れに伴う工期長期化や鋼材などの建築資材価格の上昇が続いており、厳しい状況」（一般工事業）、「民間設備投資が停滞しており、受注は減少。また、地域の公共工事の入札も競争が厳しく、売上確保に苦慮している」（管工事業）

【製造業】

「半導体や海外からの部品不足による国内自動車メーカーの生産調整が続いており、受注が回復してこない。世界的な脱炭素化の流れにより、電気自動車への転換が進んでおり、内燃機関の開発や新規案件が減少している」（自動車部品製造業）、「土産物の需要が戻らない中、小麦粉などの原材料価格の上昇を吸収しきれない状況となっており、来月より商品の値上げを実施する予定」（菓子製造業）

【卸売業】

「売上は堅調に推移しているが、原油や銅価格の上昇による電線などの製品の仕入価格が大幅に上昇しており、販売価格への転嫁を取引先と交渉している」（一般機械器具卸売業）、「消費者への直売や価格転嫁の取り組みの成果もあり、売上は維持している。ただし、先行きについてはロシアによるウクライナ侵攻に伴いロシア産の冷凍魚の輸入が困難になると見込んでおり、さらなる仕入コスト上昇を懸念している」（水産物卸売業）

【小売業】

「食料品の売上が堅調に推移し、業況は改善。ただし、先行きの感染状況に伴う来店客数など不透明な部分が多く、手探りで営業している」（総合スーパー）、「欧州のメーカーを中心に入荷が滞っている。春の新生活シーズンを迎え、筆記用具の需要が高まる時期に商品不足となり、販売機会の損失が生じている」（文房具小売業）

【サービス業】

「前年同月に比べ、学生をはじめとした来客が増えており、業況は改善。原油高に伴い仕入商品の一部が値上げされるため、今後の採算悪化を懸念している」（公園・遊園地）、「例年開催されるマラソンイベントの中止や歓送迎会などの需要が低迷し、売上の減少が続いている。光熱費や小麦粉、食用油などの値上げもあり、経営環境はますます厳しくなっている」（飲食業）

【三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<http://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況 DI は、令和 2 年度第 4 四半期(R3 年 1～3 月)比(以後 前年同期比という)では▲23 (前期差 26 ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲22 (前期差 9 ポイント増)、製造業が▲4 (前期差 26 ポイント減)、卸売業が▲29 (前期差 31 ポイント減)、小売業が▲44 (前期差 14 ポイント減)、サービス業が▲43 (前期差 49 ポイント減)となった。前回調査に比べ、建設業は DI 値が回復したが、製造業、卸売業、小売業、サービス業建設業は DI 値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は▲22 (前期差 9 ポイント増)、採算 DI は▲37 (前期差 4 ポイント増)、売上額 DI は▲33 (前期差 11 ポイント増)、従業員 DI は+4 (前期差 4 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とともに増加で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI は▲4 (前期差 26 ポイント減)、採算 DI は▲23 (前期差 38 ポイント減)、売上額 DI は▲5 (前期差 26 ポイント減)、従業員 DI は▲4 (前期差 4 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とともに減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲29 (前期差 31 ポイント減)、採算 DI は▲24 (前期差 30 ポイント減)、売上額 DI は▲18 (前期差 8 ポイント減)、従業員 DI は▲6 (前期差 10 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とともに減少で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況 DI は▲44 (前期差 14 ポイント減)、採算 DI は▲50 (前期差 21 ポイント減)、売上額 DI は▲54 (前期差 33 ポイント減)、従業員 DI は+4 (前期差±0 ポイント)となり、従業員 DI は横ばい。業況 DI、採算 DI、売上額 DI は減少で推移した。

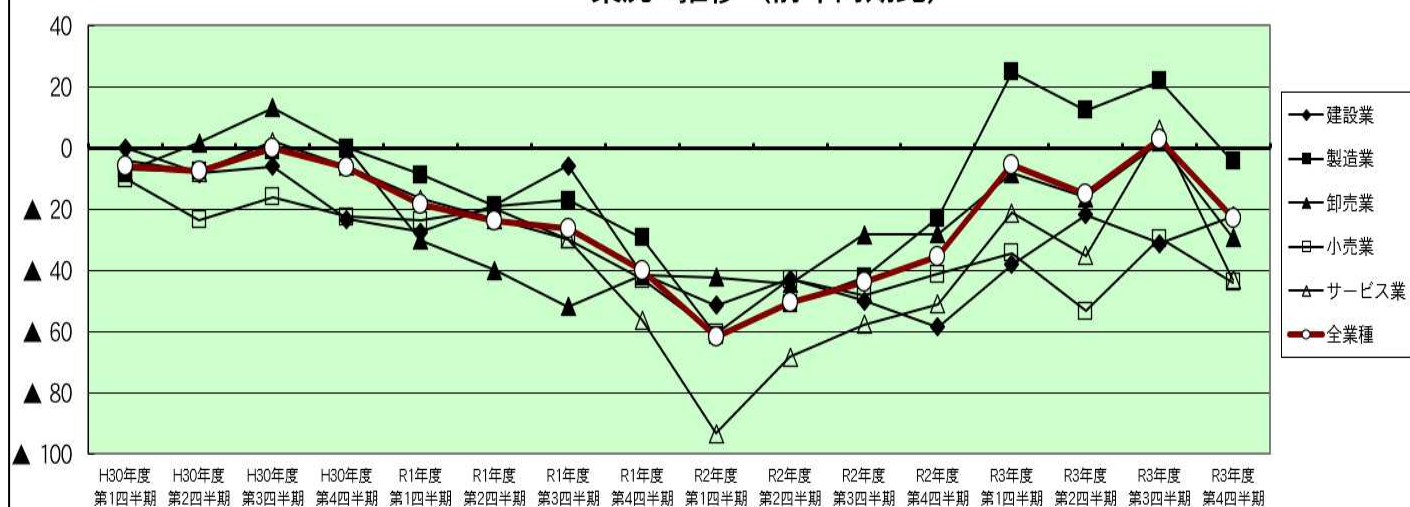
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況 DI は▲43 (前期差 49 ポイント減)、採算 DI は▲53 (前期差 47 ポイント減)、売上額 DI は▲51 (前期差 43 ポイント減)、従業員 DI は▲17 (前期差 19 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とともに減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	H30 年度				R1 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 6	▲ 8	0	▲ 7	▲ 19	▲ 24	▲ 26	▲ 40
建設業	0	▲ 8	▲ 6	▲ 23	▲ 28	▲ 19	▲ 6	▲ 41
製造業	▲ 7	▲ 8	▲ 1	0	▲ 9	▲ 19	▲ 17	▲ 29
卸売業	▲ 8	2	13	0	▲ 30	▲ 40	▲ 52	▲ 42
小売業	▲ 10	▲ 24	▲ 16	▲ 23	▲ 24	▲ 20	▲ 30	▲ 43
サービス業	▲ 4	▲ 8	2	▲ 6	▲ 17	▲ 23	▲ 30	▲ 56
	R2 年度				R3 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 62	▲ 51	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23
建設業	▲ 52	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22
製造業	▲ 61	▲ 51	▲ 42	▲ 23	25	12	22	▲ 4
卸売業	▲ 42	▲ 44	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29
小売業	▲ 61	▲ 43	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44
サービス業	▲ 93	▲ 68	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43

業況DI推移 (前年同期比)

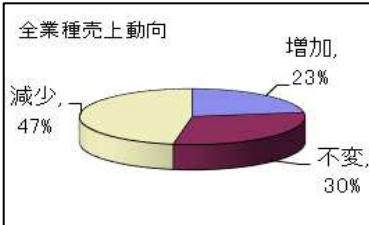


令和3年度 第4四半期(2022年1月～3月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

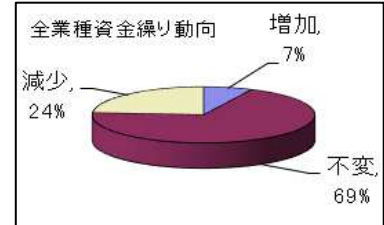
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	55	73	115
	%	23%	30%	47%
建設業	件数	4	10	13
	%	15%	37%	48%
製造業	件数	28	33	33
	%	30%	35%	35%
卸売業	件数	15	12	24
	%	29%	24%	47%
小売業	件数	3	6	17
	%	12%	23%	65%
サービス業	件数	5	12	28
	%	11%	27%	62%



業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	17	165	57
	%	7%	69%	24%
建設業	件数	2	19	6
	%	7%	70%	22%
製造業	件数	9	70	13
	%	10%	76%	14%
卸売業	件数	5	38	8
	%	10%	75%	16%
小売業	件数	0	16	10
	%	0%	62%	38%
サービス業	件数	1	22	20
	%	2%	51%	47%



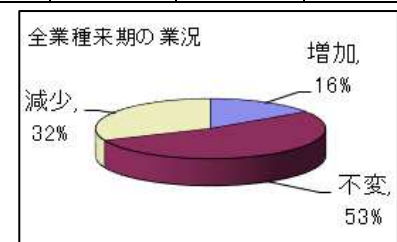
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	32	98	112
	%	13%	40%	46%
建設業	件数	3	11	13
	%	11%	41%	48%
製造業	件数	15	42	36
	%	16%	45%	39%
卸売業	件数	10	19	22
	%	20%	37%	43%
小売業	件数	1	11	14
	%	4%	42%	54%
サービス業	件数	3	15	27
	%	7%	33%	60%



業種別来期(2022.4～6月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	31	106	63
	%	16%	53%	32%
建設業	件数	1	15	6
	%	5%	68%	27%
製造業	件数	15	42	22
	%	19%	53%	28%
卸売業	件数	3	25	15
	%	7%	58%	35%
小売業	件数	3	8	7
	%	17%	44%	39%
サービス業	件数	9	16	13
	%	24%	42%	34%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>